



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 R3年3月
編集者 坂口 洋一
No. 45

いよいよ春本番か

西の地方から桜だよりがちらほら。本誌が配布される頃には大分北上していることでしょう。我が家の猫の額のような庭にも、水仙、雪割草、クロッカス等が咲きはじめました。

会員の皆様には花作り名人会員より桜草の苗が配られ、受験生の孫たちにも「桜咲く」の吉報が入り、春っていいですね。各学校では卒業式も終わり、若者たちは夫々希望の未来に旅立っていきます。我々高齢者の「旅立ち」と言えばそれとは異なり「西方浄土の世界」。誰もが行ったつきりですが楽しい所だそうです。愚痴を言っても仕様がありません。これも自然の摂理で避けては通れません。

明るく希望に満ちた春の話題から思わぬ展開になってしまいました。何はともあれ、今年も桜が見られそうに喜ばしい限りです。

近くワクチンも打たれるそう。これも明るい話題ですね。



きらくな会と私



会員の声を載せました。
会員たちが本会への率直な感想を述べています。参考にしてよろしければ仲間どうぞ

平成 29 年の準備の段階から関わり、今年 3 月で丸 4 年になるきらくな会。当初、竹藪を竹林にしたいと男性陣が奮闘し 2 年掛かりで一区切り。中に果樹を植えた。実のなるのが待ち遠しい。又、花壇には季節の花々で美観造りに勤しむ。
渡邊 進

わが家は二人っきりなので、少しでもご近所の方々と親しくして頂く、絶好の機会と思い会に交えて頂きました。今さらながら、会員の皆さんが長年培われた技能と人となりに感動し楽しく活動しています。
菅原 秀司

色々な活動の中で、健康麻雀は運 9 分腕 1 分の私でも、たまに勝つ事が出来楽しんでおります。年 3 回程のお酒の入る例会も楽しみの一つです。昔の様に町で飲むこともなくなり、千円会費でも会話も弾み楽しんでます。
T・I

会発足時より仲間に入れて頂き思うことは、メンバーの皆様が生かされているという事です。どのように年を重ねるかの自問自答の難題への道標とすべく、背中を見つめ、歩み続けたいと思います。よろしくお願いたします。
山田 学

「よく笑うと、人生はもっと楽しくなる」私の好きな言葉です。皺など気にせず大笑い。野菜作り、男性軍が大活躍。今年も頼りにしています。素敵な会になりました。
祐くんのばあば

老人二人だけの隠居にと、県外から選んだ東 7 丁目でした。たまに訪れる子や孫との距離も丁度良く、その上、心身ともに健やかで積極的な「きらくな会」の皆様巡り合い、私の老後と終活は安泰。ここに来て良かった。わが人生は「ピンゴ!!」です。
中村メロンパン

会員になって、人と人のつながりがこんなにも楽しく学べたことが私の宝です。月の例会、誕生会が楽しみ。畑には季節の花々、野菜の収穫など皆さんの笑顔が輝いて見え、幸せもらって帰ります。感謝です。
信子

心身の健康を保つことは、「ひとつやってみよう」とする意欲であり、それを行動に移すことである。
A・K



発足時は仕事をしておりましてので、入会を迷いましたが、友人知人がいない緑ヶ丘で老後過ごす訳ですから、近所の方とふれあう事は大切と思い参加させて頂き、お陰様で今ではグラウンドゴルフクラブ、散歩をする友人もでき感謝です。

妙

毎月の定例会で皆さんと顔を合わせながら活動報告や誕生会、また情報交換など楽しいひと時を過ごしています。これからも皆さんとの出会いを大事にしながら、活動を続けていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

そら

お花の香りがする今日です。色々行事があり、私にとっては初めての事ばかりです。物作り、バーベキュー、お花見、ゴルフ。これからも皆様と楽しく過ごしたいですね。

吉田



先にきらくな会に入っていた連れ合いに、否応なく入会させられ活動にも参加しました。今では体力維持やボケ防止に役立つグラウンドゴルフや、麻雀等を行ひ楽しくすごしております。これからもよろしくお願ひします。

新入り

コロナ禍で活動制限の中、きらくな会の畑を通しての野菜作りが一番好きです。会長以下プロ並みのメンバーの元、種まきから収穫まで体験でき、新鮮な野菜まで食する、もう最高です。又、花もいいです。心が洗われるようです。七丁目集会所の土手に、これから咲く花達を楽しみに待っています。

花大好きばーさん



男子トイレの注意書きでは
ありません。
家に閉じこもっていないで
一歩前に進んでみませんか。
そんなにたいした会ではない
ですが、ちょっと、暮らしが変
わるかもです。
きらくな会にどうぞ！

